

令和3年度 滋賀県国民健康保険団体連合会事業計画・予算

国保連合会通常総会

滋賀県国民健康保険団体連合会通常総会



3月2日、滋賀県国民健康保険団体連合会通常総会を、ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター大会議室で開催しました。開会に当たり、2月18日の理事会において滋賀県国保連合会理事長に選出された橋川渉草津市長が開会のあいさつを行いました。続いて橋川理事長を議長に選出し、福井正明高島市長と久保久良多賀町長を議事録署名者に指名、議事に入りました。議事では、令和3年度事業計画及び歳入歳出予算についてなど12議案、1報告の審議が慎重に行われ、全議案が原案通り可決・決定されました。

I 基本方針

わが国の国民健康保険制度は、制度創設から80余年が経過し、この間、国民皆保険制度の中核を担い、地域医療の確保や地域住民の健康の維持増進に貢献してきました。

しかしながら、近年は、被保険者の高齢化と医療費の増大、所得水準の低い被保険者が多い中において、保険料（税）の負担率が高いという構造的な問題に直面しています。このような状況の中、滋賀県においては、持続可能な国民健康保険の運営を基本理念とした第2期滋賀県国民健康保険運営方針が策定され、保険料負担と給付の公平化等の方向性に基づいた取り組みが進められており、本会は市町事務の共同事業の実施による効率化等の役割を果たしていく必要があります。

一方、本会は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政策の実施について、保険者・行政機関からの要請に基づき緊急包括支援事業等の取り組みを行い、引き続き、国保連合会のノウハウを活用した支援業務を実施していくことが求められています。

こうした時期にあつて、本会としては、保険者および広域連合の信頼と負託に応えるため、次の二つの基本方針

で臨むことといたします。

一 大きく変化する医療・介護・障害者総合支援各制度を的確に把握し、適切な対応が取れるように努め、「審査支払業務の専門集団」としての役割に加えて、「地方自治体が行う医療・保健・介護・福祉業務を支援する専門集団」として、保険者の皆様等から認められているよう努力してまいります。

二 現在の保険者のきわめて厳しい財政事情を十分理解し、保険者とは運命共同体であるとの認識のもと、業務の効率的・効果的執行に心がけるとともに保険者の負担軽減を図り「最小の経費で最大の効果」が得られるよう、中期経営計画（令和2年度～令和4年度）の目標達成に向けて職員が一丸となり、計画的に取り組んでまいります。

この2つの基本方針のもと、大きくは次の三本柱の事業に取り組んでまいります。

一つ目には、保険者事務の支援として、滋賀県国民健康保険運営方針に基づく「市町事務の効率化等の取組の推進」や「後期高齢者医療業務の効率化に向けた受託業務の拡充」について、これまで培ってきた「ノウハウ」等が最大限活用

できるよう、より一層の支援・拡充に取り組みます。

二つ目は、保険者が行う保健事業の支援として、保健事業支援・評価委員会の開催と国保データベース（KDB）システムの活用した、市町保健事業のデータ分析・評価等支援と合わせて、令和2年度から施行された「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」についても、積極的な支援を行います。

三つ目には、基幹業務である審査の充実に向けた取り組みとして、コンピュータチェックを効率的・効果的に、審査基準の差異解消に向け、全国の国保連合会等とともに審査基準の統一化と統一的なチェックルールの設定を目指し、より一層の審査の質の向上に努めます。

II 重点目標

1. 第3期中期経営計画（令和2年度～令和4年度）の推進
 対策の推進
2. 国保制度の改善強化と財政安定化
 対策の推進
3. 診療報酬の適正かつ迅速な審査
 支払と審査充実に向けた取り組み
4. 保険者共同事業の充実および後期

高齢者医療広域連合からの受託業務の拡充

5. 保険者等が行う保健事業に対するヘルサポート事業の実施
6. 介護保険給付費の適正な審査支払および適正化対策事業の推進と障害者総合支援給付等の適正な審査支払
7. 個人情報保護および情報セキュリティ対策の強化

III 事業実施事項

1 本会の運営に関する事項

(1) 総会・理事会の開催

本会の事業計画・予算および事業報告・決算について、総会、理事会、監事会、会計監査予備調査、国保主管課長会議等を開催します。

(2) 本会経理の透明化

複式会計システムによる会計処理や監査法人による外部監査、監査室による内部監査の強化により、会務の一層の適正化・透明化を図ります。

(3) 第3期中期経営計画

（令和2年度～令和4年度）の推進

「基本理念」「基本方針」や「組織目標」について、職員が目的意識を持ち一丸となって目標達成にむけて取り組みます。また、「中期経営計画

推進会議」を開催し、計画の進捗管理・評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

(4) 個人情報の保護および

情報セキュリティ対策の強化

大切な情報資産を安全に運用管理するため、組織全体で情報セキュリティ対策の強化（情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS））に取り組み、個人情報を含む情報資産の適切な管理に努めます。

2 国民健康保険制度の改善強化と財政安定化対策の推進に関する事項

(1) 国民健康保険制度への対応

① 県に設置される滋賀県国民健康保険市町連携会議等に参画し、保険者および関係機関との連携を密にします。

令和2年12月28日に策定されました第2期「滋賀県国民健康保険運営方針」の基本理念が実現されるよう、運営方針に明記されている本会の役割

（県や市町事務の共同事業の実施による効率化や、研修の実施等）を果たして参ります。具体的には、市町の補助金申請事務等資料作成の支援、高額療養費の支給事務手続簡素化に向けた取り組みの支援を行います。

② 市町からの共同委託により運用する

る国保情報集約システムを活用して、「被保険者資格情報の集約管理業務」「高額療養費の多数該当の判定に係る業務」「世帯継続等市町間における情報連携業務」「国保総合システムへの情報連携業務」を適切に行うことにより、安定した制度運営に努めます。

また、令和3年3月のオンライン資格確認等システム稼働後における市町国保加入情報を医療保険者等向け中間サーバ等に連携する業務の安定的な運用に努めます。

③ 標準保険料率算定のため、国保事業費納付金等算定標準システムを活用し、県からの受託により、市町基礎データの集約業務および納付金算定に係る計算事務を行います。

④ 県ならびに各市町の医療費適正化など保険者努力支援制度の指標に対する保険者の取り組みを引き続き支援します。具体的には、保険者共通、国保固有および都道府県分の各指標の達成に資するよう、研修会や共同事業を実施します。

⑤ 特定技能外国人の国民健康保険への加入促進を図ることを目的に、出入国在留管理庁から提供される特定技能外国人の身分事項等の情報について、国民健康保険中央会と市町村

の間の経理事務を行います。



橋川渉理事長

(2) 国保制度改善強化全国大会への参加

国保財政の安定と制度改善を図るため、関係団体と協調して、国保制度の基盤強化・給付と負担の公平化、国保事業に対する助成の拡充・強化等について、国保制度改善強化全国大会に参加するなど要請活動を行い、その実現に努めます。

(3) 国保事業充実強化推進に関する取り組み

- ① 収納率向上対策
収納率向上のための研修会を開催するとともに、月間を設定し、国保加入者の納付意識の向上と啓発を行います。
- ② 医療費適正化対策
レセプト点検共同事業をはじめ、第三者行為求償事務および後発医薬品の使用促進等、医療費適正化対策に努めます。
- ③ 保健事業の推進

保険者協議会や関係機関と連携し、保険者が行う保健事業を支援します。また、月間を設定し、被保険者の健康意識の向上と啓発を行います。

3 国保総合システムに関する事項

保険者ニーズを的確に把握するとともに、保険者のシステムとして有効的に活用されるよう、国保総合システムおよび国保情報集約システムに実装される各種機能を活用し、安定稼働に努めます。一方、社会保険診療報酬支払基金では、審査支払に係る新システムの開発が進められております。

国保連合会の国保総合システムは、支払基金のシステムと共有している部分もあり、併せて、保険者共同処理に係る保険者サービssystemとデータ連携していることから、支払基金のシステム開発の動向を注視するとともに、国保中央会、全国国保連合会と一体となって、次期国保総合システムの構築に取り組みます。

4 国民健康保険および後期高齢者医療診療報酬等の審査支払に関する事項

複雑・高度化する医療内容に的確に対応するため、審査事務共助職員の資質の

向上等を図ることにより、審査委員がより確かつ高度な審査に専念できるよう努めるとともに、平成29年度に全国の国保連合会と国保中央会が取りまとめた「国保審査業務充実・高度化基本計画」に基づき、審査業務の高度化と効率化、審査基準の差異の解消等に向けた取り組みを全国の国保連合会とともに進めます。

また、国保総合システムを活用し、原審査時およびレセプト点検時の資格確認業務の充実にも努めていきます。

① **審査委員会の開催**
審査の充実を図るため、より効率的な審査委員会運営に努めます。

② **審査委員会の充実**
医科(内科・外科)部会および歯科部会に常務処理審査委員を配置します。

③ **審査専門部会の開催**
審査専門部会を1日開催し、高点数レセプトの適正な審査に努めます。

④ **超高額レセプトの審査**
国保中央会に設置された特別審査委員会に審査を委託します。
(対象レセプトは、医科38万点(心臓疾患は70万点) 以上および肝移植・心移植・肺移植等の稀少手術例を含むもの。歯科20万点以上、等)

⑤ **再審査部会の開催**
再審査部会を1日開催し、医療機関からの再審査申立に適正に対応します。

(6) 審査委員の研修

① 近年の医学・医術に即したテーマを中心に学術講演会(年2回)を開催し、委員の資質の向上を図り、適正な審査に努めます。

② 審査上のワンポイントレッスンを毎月定例的に開催し、審査委員相互の連携および審査の充実強化に努めます。

③ 中央において開催される社会保険指導者講習会に、医科・歯科それぞれの代表委員を派遣します。

④ 国保中央会・国保近畿地方協議会の主催する審査委員会長会議および常務処理審査委員連絡会議、審査委員連絡協議会にそれぞれ該当委員を派遣します。

⑦ **コンピュータチェックの充実**
ICTを最大限活用したコンピュータチェックを効率的・効果的に行うため、チェック項目の点検と拡充を図るとともに、審査基準の差異解消に向けた取り組み強化として、審査基準の統一化と併せて、全国の国保連合会等との統一的なチェックルールの設定を目指すし、より一層の審査の適正化と保険者再審査の減少に努めます。

⑧ **審査事務共助職員の資質の向上**
職員の資質の向上を図るため、職員研修の内容の充実を図るとともに、国保中央会が主催する「審査事務共

助知能力認定試験」に取り組みます。
(9) 関係団体との連携

- ① 保険医療機関等の指導監督部署と審査支払機関とが連携を強化し、情報の共有化を図るための「滋賀県診療報酬適正化連絡協議会」へ参加します。
- ② 審査支払業務の充実を図るため、必要に応じて社会保険診療報酬支払基金滋賀支部と情報交換を行います。

(10) 関連する診療報酬等の審査支払

- ① 公費負担医療費の審査支払
- ② 福祉医療費の審査支払
- ③ 各制度に係る現物給付分の高額療養費の支払
- ④ 他都道府県分診療報酬の全国決済制度による審査支払

(11) 療養費の審査支払等

- ① 柔道整復師施術療養費の審査支払については、柔道整復療養費審査委員会を開催し適正な審査に努めます。また、過去の申請内容の傾向を分析し、不適正な申請が散見される施術所に対し、重点的審査等（文書注意、面接確認含む）を行います。
- ② 療養費審査委員会を開催し、はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費（以下、「あはき療養費等」という。）の適正な審査および支払を行います。また、その他療養費（治療用器具等）の審査を行います。

- ③ 保険者支援および柔道整復師施術療養費、あはき療養費等の適正化のため、患者調査に必要な情報を保険者に提供し、保険者支援の充実・強化を図ります。

(12) 出産育児一時金等の直接支払

保険者からの委託を受けた出産育児一時金等の医療機関等への直接支払に係る事務を実施します。

(13) 原審査時およびレセプト点検時での資格確認について

- ① 原審査時の資格確認
 資格確認結果に基づく事項修正を行うとともに、取得前受診、喪失後受診等について、資格情報と照合のうち、資格誤りがあるものについては保険医療機関等へ連絡後、返戻処理を行います。

なお、令和3年10月から、オンライン資格確認等システムにより、一定条件を満たす電子レセプトのみ資格確認が行われ、資格誤りのある電子レセプトは、正しい保険者へレセプト振替・分割処理が実施される予定です。

- ② レセプト点検時の資格確認
 原審査時において処理ができなかった資格エラー分の確認作業を行います。資格誤りであることが確認できたものは、オンライン資格確認等システムを用いてレセプト振替等、

または、保険医療機関等へ確認のうえ、返戻処理を行います。

(14) 被保険者資格喪失者に係る保険者間調整の実施

被保険者資格喪失後の受診により発生する返還金の保険者間調整について、包括的合意に基づく国保保険者間の振替および療養費等の代理受領方式による被用者保険者等との調整について、関係団体との諸調整や療養費支給申請書等の授受、療養費の支払いに関する事務等を本会が行うことにより、被保険者や保険者事務の負担軽減に努めます。

- ① 包括的合意に基づく国保保険者間調整
- ② 代理受領方式による保険者間調整

(15) 福祉医療費の審査支払等

被用者保険に係る福祉医療費の審査支払業務について、令和3年4月診療分から社会保険診療報酬支払基金滋賀支部に移行となりますが、支払基金で取り扱わない柔道整復療養費にかかる福祉医療費の請求支払を行うとともに、支払基金のレセプトデータから、移行前と同様に請求事務費の支払（段階的廃止）、資格確認にかかる帳票の作成、福祉月報の作成等の共同処理を行い、滋賀県、市町における事務の省力化に努めます。

5 保険者共同事業および後期高齢者医療事務代行業務等に関する事項

(1) 保険者（国保・福祉医療費）事務共同電算処理業務に関すること

国保総合システムに実装される機能を活用し、保険者事務の効率化、省力化ならびに保健事業充実のための資料作成に努めます。

- ① 保険者・被保険者・福祉医療受給者の諸情報の登録
- ② レセプトの資格確認および給付点検
- ③ 被保険者証（兼）高齢受給者証）および医療費通知書、後発医薬品利用差額通知の作成
- ④ 高額療養費（外来年間合算処理含む）および高額介護日算療養費の算定処理
- ⑤ 国保事業状況報告書（事業年報（月報）・福祉医療費助成事業状況報告書（福祉月報）・各種補助金資料作成処理等および諸統計の作成
- ⑥ 市町支援の一助として市町村事務処理標準システム導入に向けた調査および研究
- ⑦ 前各号のほか、随時各保険者の申し出を受け、蓄積した諸情報を基に諸帳票を作成
- ⑧ 国保共通外字の管理および新規外字同定作業
- ⑨ レセプト等の保存管理

⑩ データ集配信システムを活用した全国決済等、業務運用の効率化

⑪ 保険者事務共同電算処理業務運営委員会の開催

⑫ 特別調整交付金（結核・精神）申請に係る市町事務支援

(2) 国保に関する諸統計の作成に関すること

共同電算処理事業による基礎データの整備を図ると共に、健康づくり等に活用するための情報提供を行います。

また、医療費統計・分析システム（淡海ヒューマンネット）により、疾病構造や地域特性を把握するための資料作成および予算編成期の医療費推計、併せて毎月の医療費の動向等のタイムリーな情報を提供します。

(3) 保険者レセプト点検事務共同事業に関すること

① 効率的・効果的なレセプト点検を実施するため、レセプト点検支援システムを活用し、コンピュータチェック項目の拡充と効率的な点検に努めます。

② 研修会の実施や保険者訪問等により、保険者との連携に努めます。

③ レセプト点検事務共同事業の受託に向けて、説明会を開催いたします。
④ 一部点検を委託している業者との相互の情報共有と研鑽により、より質の高い、効果的なレセプト点検に努めます。

(4) 第三者行為（交通事故等）損害賠償求償事務共同事業に関すること

① 保険者から求償事務を受託し、損保会社等と折衝を行い、保険者が代位取得している損害賠償金を回収することににより保険給付の適正化に努めます。また、本会において被保険者への治療事由調査を行うことで、保険者事務の軽減と速やかな求償案件の発見に努めます。

② 求償事務担当者研修会の開催や厚生労働省の求償アドバイザーの活用、さらには損害賠償求償専門員を保険者へ派遣し巡回訪問を行うなど、保険者との連携に努め、求償事務の充実強化を図ります。

③ 加害者直接求償については、個別の案件ごとに保険者と本会で事前調整のうえ実施し、速やかな損害賠償金の収納に努めます。

(5) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進に関すること

後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知を年2～4回発行するとともに、発行後の効果分析（後発医薬品への切替の状況、利用率の推移、軽減効果額の状態など）を行います。併せて「ジェネリック医薬品希望シール」の斡旋を行います。

(6) 収納率向上のための支援に関すること

① 収納率の向上に向け、各月間（保険料（税）納付強調月間（11月1日～12月31日）、保険料（税）完納月間（3月1日～5月31日））の設定を行い、啓発のためのポスター、マスメディアの活用等を通して、国保加入者の納付に対する意識の向上に取り組みます。

② 滞納整理を中心とした徴収アドバイザー派遣事業や個別相談会を実施します。
③ 滞納世帯の収納につなげるため、滞納世帯配布用啓発チラシを作成します。
④ 国保加入届の遅延防止対策として、啓発用チラシ（事業所向け・退職者本人向け）を作成します。

(7) 後期高齢者医療事務代行業務に関すること

後期高齢者医療広域連合が行う事務処理の軽減および効率化を図るために、後期高齢者医療広域連合電算処理システムの運用管理（機械操作）をはじめ下記の事務代行業務を行うとともに、後期高齢者医療広域連合における保険者事務および市町における関係業務の負担軽減のため、可能な限り受託業務の拡充に取り組みます。

① システム運用管理
・ 各種情報の更新処理（日次処理・月次処理・年次処理）
② 資格管理業務

・ 被保険者管理業務
・ 新規外字の同定作業
・ 被保険者証・限度額認定証（長期入院該当判定含む）等の年次更新（作成、封入封緘業務）

③ 保険料関係業務
・ 保険料賦課シミュレーション作業
・ 保険料賦課台帳の作成
・ 期別管理、収納管理、滞納者管理業務
④ 給付関係業務
・ レセプト画像データ処理および管理
・ レセプト点検業務（資格確認業務、給付確認業務）

・ 療養費（差額支給含む）支給処理業務
・ 高額療養費支給処理（外來年間合算支給処理含む）および高額介護合算療養費の支給処理業務
・ 葬祭費支給処理に関する業務
・ 第三者行為求償事務
・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知発行後の効果分析業務

⑤ 統計関係資料の作成
・ 事業状況報告書等の作成
・ 医療費分析（あはき療養費等含む）の作成

⑥ 保健事業
・ 重複・頻回受診者訪問指導事業支援業務（1次抽出）
⑧ 保険者および行政機関からの要請にか
かる対応について

本会設立趣旨に則り、保険者および行政機関からの要請等に基づき、医療保険制度を支えるため、可能な限り支援・協力を行って参ります。

① 風しん対策にかかる請求・支払事務について
 風しん対策（抗体検査・予防接種）にかかる請求・支払事務（抗体検査・予防接種に係る費用を委託契約に基づき、市町に請求し、医療機関・健診機関に支払う業務）を行います。また、クーポン券発行にかかる業務を行います。

② 新型コロナウイルス感染症等にかかる対応について
 新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用の請求支払事務を行います。新型コロナウイルスワクチン接種券（クーポン券）の作成を行います。

③ 健康増進法に基づき、健康増進事業実施者の一員として、本会が果たすべき住民の健康増進のための事業を積極的に推進します。

④ 評価基準等を活用した保健事業の評価への助言
 ⑤ 個別保健事業実施への助言
 ⑥ 評価基準等を活用した保健事業の評価への助言
 ⑦ 保険者等職員に対する研修
 ⑧ 個別サポート事業の実施

⑨ 健康日本21の推進と支援
 健康増進法に基づき、健康増進事業実施者の一員として、本会が果たすべき住民の健康増進のための事業を積極的に推進します。

⑩ 地域住民の健康保持増進および啓発
 ⑪ 健康増進強調月間（9月1日～11月30日）を定め、マスメディア、ポスター等を活用し被保険者が自らの健康保持増進への意欲を高めるための啓発を行います。

⑫ また、関係機関と連携し、地域住民の方の健康意識を高める取り組みを進めます。

⑬ ②市町（保険者）等における健康まつり、健康教室などの催しに参加するとともに、3分間体力診断システム（健康くらぶ）の他、健康啓発教育用機材の貸し出しを行います。

⑭ ⑥滋賀県市町保健師協議会、滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」の運営および活動に対する支援
 滋賀県市町保健師協議会、滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」の事務局を担うことにより、運営・活動を支援するとともに、保健師間の情報共有、さらなるキャリアの形成を図ることにより、それぞれの市町の健康増進施策の推進を支援します。

⑮ ⑦糖尿病性腎症重症化予防への支援
 市町が効率的・効果的に事業に取り組むことができるよう、県との役割分担を図りつつ、国保中央会が作成した研修プログラム等を活用しセミナーを開催するとともに、希望する市町については、対象者の抽出支援を行います。

⑯ ⑧高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施への支援
 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」（令和元年10月改定版）に基づき、後期高齢者医療広域連合および県との連携を密にして、セミナーの開催など、市町への支援を行います。

⑰ ⑨また、広域連合からの委託をうけ、市町の要望に応じて、KDBシステム等を活用し、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に必要なデータや分析資料を提供します。

⑱ ⑩市町保健事業の支援
 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律により、国保連合会の業務に市町の保健事業のデータ分析や事業評価が位置付けられたことから、一層、KDBシステムの活用等を通じ、市町保健事業を支援します。

⑳ さらに、県からの受託により、KDBシステムでは対応しきれない事業管理、評価、分析に係る機能を補

⑳ さらに、県からの受託により、KDBシステムでは対応しきれない事業管理、評価、分析に係る機能を補

6 保健事業の推進に関する事項

(1) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の実施

保険者等が一体的に事業を行うことにより、年齢で途切れることのない連続性のある保健事業の展開を図ることを目指し、本会に設置の有識者等からなる「保健事業支援・評価委員会」において、保険者等がPDCAサイクル

に沿った効率的・効果的な保健事業が展開できるよう支援します。
 ① KDBシステム等を活用した保険者等へのデータ提供
 ② 個別保健事業実施への助言
 ③ 評価基準等を活用した保健事業の評価への助言
 ④ 保険者等職員に対する研修
 ⑤ 個別サポート事業の実施

⑥ 滋賀県市町保健師協議会、滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」の事務局を担うことにより、運営・活動を支援するとともに、保健師間の情報共有、さらなるキャリアの形成を図ることにより、それぞれの市町の健康増進施策の推進を支援します。

⑦ 糖尿病性腎症重症化予防への支援
 市町が効率的・効果的に事業に取り組むことができるよう、県との役割分担を図りつつ、国保中央会が作成した研修プログラム等を活用しセミナーを開催するとともに、希望する市町については、対象者の抽出支援を行います。

完するシステムを導入し、操作研修や資料作成支援など市町における保健事業の円滑な実施に取り組みます。

7 特定健診・特定保健指導に関する事項

(1) データの管理・保存および費用決済等に係る業務に関する事項

- ① 特定健診・特定保健指導等費用の支払およびデータ管理業務を行います。
- ② 特定健康診査受診券の作成など保険者等の事務の軽減と効率化を図るための共同事業を実施します。
- ③ 国への特定健診データの送信業務（法定報告）を行います。

(2) 保険者への支援

- ① 特定健診・特定保健指導にかかる保険者支援として、国保データベース（KDB）システムや特定健診等データ管理システムを活用し、特定健診等の実施内容・結果の評価・分析等の支援を行います。
- ② 特定健診・特定保健指導担当者説明会を開催します。
- ③ 関係機関（医師会・県・被用者保険者等）との円滑な実施に向けた調整の支援を行います。具体的には、特定健診等が県内フリーアクセスで受診できるよう、滋賀県医師会と代表保険者による集合契約の調整を行います。

ます。

- ④ 生活習慣病予防や早期発見のため、特定健診および特定保健指導の重要性について、さまざまな機会をとらえた啓発を行います。
- ⑤ 市町が実施する特定健康診査受診勧奨事業について、市町における事務の軽減を図るため、未受診者への受診勧奨通知の作成・送付等の支援を行います。

8 調査および研究に関する事項

従前、国保問題調査研究会で調査研究していた国民健康保険制度の当面する諸問題については、概ね滋賀県国民健康保険市町連携会議で滋賀県国保運営方針の推進の中で検討されることから、本会として連携会議（各都県）に積極的に参画し、保険者の立場になって問題解決に向けて取り組みます。

9 介護保険事業関係業務に関する事項

(1) 介護給付費の請求に係る審査および支払に関する事務

介護保険法の規定に基づき保険者からの委託を受け、介護給付費等審査委員会を開催し、介護保険サービス提供事業所等から提出される介護給付費・地域支援事業の適正な審査および支払に努めます。

(2) 介護サービスに係る苦情処理業務

介護保険法の規定に基づき介護サービスの質の向上を図るため、サービス利用者等からの相談や苦情への適正な対応に努めるとともに、介護サービス苦情処理委員会を開催し、介護サービス事業者に対する調査や不適切なサービスに対する指導・助言を行います。併せて、保険者の苦情対応担当職員を対象とした研修会を開催します。

(3) 保険者事務共同処理業務

保険者が行う介護保険の事務処理業務の効率化を目的に以下の共同処理業務を行います。

- ① 要介護認定更新支援処理
- ② 償還払給付額管理処理
- ③ 介護給付費通知作成処理
- ④ 高額介護サービス費支給処理および高額医療・高額介護合算制度における支給計算処理
- ⑤ 市町村特別給付等支払処理
- ⑥ 主治医意見書料支払処理
- ⑦ 認定調査委託料支払処理
- ⑧ 各種支払支援処理（償還払い・高額介護サービス費）
- ⑨ 介護給付費縦覧審査処理
- ⑩ 保険料等の特別徴収に係る経由事務

①その他保険者が必要とするもので連合会が認めた資料の作成処理（介護給付適正化情報提供処理含む・介護保険事業状況報告・第三者行為求償管理処理等）

②併せて、適正化情報の効果的な活用を目的に県・関係機関との連携を図り、介護給付適正化対策事業の一体的な取り組みを推進します。

(4) 介護給付適正化対策事業の実施

第5期介護給付適正化事業指針に基づく介護保険者における効果的・効果的な適正化対策事業の実施に向けて、介護給付適正化システムによる適正化情報を提供します。

①介護給付適正化システムによる適正化情報の介護保険者および滋賀県への提供

②ケアプラン点検に係る事業所・受給者情報等を介護保険者へ提供

③介護保険者職員を対象とした適正化に係る研修会の開催

④縦覧点検および介護給付と医療給付の突合点検の実施

⑤介護給付適正化に係る各種システム活用に向けて、個別訪問による保険者支援を実施

(5) 保険料等の特別徴収に係る経由事務

保険者の事務処理の軽減を図ることを目的に、介護保険料、国民健康

保険料(税)および後期高齢者医療保険料の年金特別徴収について、年金保険者と保険者の間の経由事務を行います。

(6) 年金生活支援給付金における所得情報
の経由事務

保険者の事務処理の軽減を図ることを目的に、年金生活者支援給付金の給付に必要な年金生活者の所得情報について、年金保険者と保険者の間の経由事務を行います。

(7) 要介護認定情報のデータ収集業務

介護保険総合データベースへの認定データの提出義務化に伴い、要介護認定情報を保険者から収集し、厚生労働省に送信する業務を行います。

(8) 介護保険調査研究委員会の開催

介護保険関連業務を円滑に運営するため、保険者ニーズに対応した共同事業と保険者事務の合理化、効率化を図るための調査研究を行います。

(9) 各種研修会の開催

- ① 介護保険初任者および事務担当者研修会
- ② 介護サービス苦情処理担当者研修会
- ③ 介護給付適正化担当者研修会

10

**障害者総合支援給付等
事業関係業務に関する事項**

(1) 障害者総合支援給付等の審査および

支払に関する事務

障害者総合支援法の規定に基づき市町および県から、障害者福祉サービス事業所および障害児施設から提出される障害介護給付費および障害児施設給付費等の適正な審査支払事務に努めます。

- ① 障害介護給付費および障害児施設給付費の支給量の管理
- ② 障害介護給付費および障害児施設給付費の審査支払
- ③ 基準該当事業者の特例介護給付費等の審査支払
- ④ 指定知的障害児施設等の障害児施設給付費の審査支払

**(2) 障害者総合支援法関係業務等市町共同
処理業務**

市町事務の効率化を目的に、共同処理業務等の積極的な支援を行います。また、地域生活支援事業審査支払業務の受託にあたっては、市町からの円滑な移行と適正な処理に努めます。

- ① 統計処理
- ② 医師意見書作成料等支払処理
- ③ 高額障害福祉サービス支給処理および高額障害児給付費支給処理
- ④ 各種支払支援処理
- ⑤ 訪問調査委託料支払処理
- ⑥ 地域生活支援事業審査支払業務
- ⑦ その他市町が必要とするもので連

合会が認めた資料の作成処理

(3) 障害者総合支援事務担当者研修会の開催

障害者総合支援の制度の全体概要、各種台帳情報の整備方法、給付費等の請求から支払までの事務の流れ等、障害者総合支援にかかる給付事務を行う上で必要となる業務知識の習得を目的とした研修会を実施します。

11 広報活動に関する事項

- (1) 機関誌「滋賀の国保」を年4回発行
- (2) 「国保新聞」の配布(毎月3回)および拡張
- (3) 「国保情報」による情報提供(毎週1回)
- (4) 被保険者用パンフレット「わたしたちの健康をささえる滋賀県の国保」の発行
- (5) 医療費通知を活用した広報
- (6) ホームページを活用した広報・情報提供
- (7) 滋賀県薬剤師会と共同した広報

**12 滋賀県保険者協議会に
関する事項**

滋賀県との共同事務局として、滋賀県内の医療保険者(高齢者の医療の確保に関する法律第7条第2項に規定する保険者および滋賀県後期高齢者医療広域連合)の加入者にかかわる健康づくりを推進します。

また、保険者間で問題意識を共有し、それに基づく取組の推進等を図

ります。

さらに滋賀県医療費適正化計画(策定または変更)にかかる協議と同計画の実施についての滋賀県への協力、滋賀県保健医療計画(策定または変更)に当たった意見提出等を行います。

13 地域医療の確保に関する事項

国民健康保険診療施設協議会の運営および事業に対する支援

- ① 滋賀県国民健康保険診療施設協議会の事務局を担い、地域包括医療・ケアの推進拠点である国保診療施設が果たす役割を支援するとともに、保険者、国保診療施設および本会が連携を密にし、協議会の充実強化を図ります。
- ② 第53回滋賀県国保地域医療学会の開催
- ③ 国保直診セミナーの開催
- ④ 病院事務長会議の開催
- ⑤ 第61回全国国保地域医療学会(岡山県開催)への参加

**14 市町国保運営協議会の
振興に関する事項**

滋賀県市町国保運営協議会連絡会の事務局を担い、国保運営協議会会長会議および国保運営協議会会長・委員研修会を開催します。

15 国保事務担当者等の
研修協議に関する事項

国保中央会・国保近畿地方協議会
あるいは県と共催、または本会単独
による国保事務担当者等の研修協議
等、各保険者における国保事業の円
滑な推進に資するため次のことを行
います。

(1) 中央における研修・協議会等への参加

① 全国国保運営協議会会長等連絡協議会

(2) 近畿地方における研修・協議会等への参加

① 近畿都市国民健康保険者協議会

② 近畿地区市町村保健師研修（兵庫
県開催）

③ 近畿地方国民健康保険診療施設協議会

(3) 研修会等の開催

① 国保セミナー

② 国保・保健事業担当課（係）長・保
健師合同研修会

③ 介護保険事務担当者研修会

④ 国保事務初任者研修会、国保事務
研修会

⑤ レセプト点検事務研修会

⑥ 第三者行為求償事務研修会

⑦ 国保料（税）徴収事務担当者研修会

⑧ 保険料（税）適正算定マニュアル研修会

⑨ 特定健診・特定保健指導担当者説明会

⑩ 国保データベース（KDB）シス
テム研修会（基礎操作編・応用編）

⑪ 国保データベース（KDB）シス
テム研修会（基礎操作編・応用編）

16 顕彰に関する事項

- ① 糖尿病性腎症重症化予防セミナー
- ② 高齢者の保健事業セミナー

(1) 滋賀県国保事業等従事関係者（団体）連
合会表彰

(2) 国保関係者功績表彰（国保中央会会長表
彰）の被表彰者推薦

(3) 国保関係者功績表彰（滋賀県知事）の被
表彰者推薦

(4) 国保関係者功績表彰（厚生労働大臣）の
被表彰者推薦

17 本会職員研修に関する事項

職員の資質向上を図るため、国保
中央会が開催する研修会等に参加す
るとともに、本会においても研修を
実施します。

(1) 国保中央会研修

初任者研修、中堅職員2期研修、新
任係長研修、新任課長研修、審査担当
職員研修、会計課長研修、企画担当課
長研修、総務担当係長研修、求償担当
職員研修、IT研修（基礎コース、担
当職員コース）、医療費分析研修等

(2) 近畿地方協議会研修

総務関係職員研修、事業関係職員
研修、職員育成研修等

(3) 市町村職員研修センター研修

部長・次長級研修、新任職員研修、
研修担当職員研修、接遇指導者養成
研修、例規担当職員研修、給与事務
担当職員研修、契約事務担当職員研
修、情報公開・個人情報保護研修等

(4) 本会職員研修

企業内人権研修、個人情報保護研
修、自動車交通安全研修、メンタル
ヘルス研修、中堅職員研修、接遇研修、
自己啓発研修等その他、国保中央会や
滋賀県後期高齢者医療広域連合等への
派遣など人材育成に努めます。

18 その他に関する事項

(1) 県等関係の各種会議への参加

① 滋賀県国民健康保険市町連携会議

(4) その他・保険者の共同目的達成に必要
な事項

印刷

(3) 国保事業等に資する関係諸様式の共同
印刷

(2) 被保険者教育用資料・保健事業活動参
考資料・審査関係図書等の購入斡旋

⑧ 滋賀県データ活用プロジェクト会議

⑨ おおつ健康フェスティバル実行委員会

⑦ 「健康しが」共創会議

⑥ 特定健診・特定保健指導等実践者
育成研修プログラム作成検討会

⑤ 滋賀県糖尿病ネットワーク推進会議

④ 滋賀県がん対策推進協議会

③ 滋賀県「健康いきいき21」地域・
職域連携推進会議

② 滋賀県「健康いきいき21」地域・
及び各作業部会

滋賀県国民健康保険団体連合会役員名簿

任期（令和元年8月1日～令和3年7月31日）
令和3年3月2日現在

役名	氏名	公職名
理事長	橋川 渉	草津市長
副理事長	野瀬 喜久男	甲良町長
副理事長(兼) 常務理事	桂田 俊夫	学識経験者
理事	三日月 大造	滋賀県知事
	大久保 貴	彦根市長
	小椋 正清	東近江市長
	宮本 和宏	守山市長
	生田 邦夫	湖南市長
	岩永 裕貴	甲賀市長
	平尾 道雄	米原市長
	伊藤 定勉	豊郷町長
監事	越智 眞一	医師国保組合 理事長
	野村 昌弘	栗東市長
	西田 秀治	竜王町長

令和3年度滋賀県国民健康保険団体連合会会計別歳入歳出予算の概要

(単位：千円)

会計区分		歳入	歳出
一般会計		554,519	554,519
診療報酬審査支払特別会計	業務勘定	930,063	930,063
	国民健康保険診療報酬支払勘定	95,506,313	95,506,313
	公費負担医療に関する診療報酬支払勘定	1,815,848	1,815,848
	福祉医療費支払勘定	4,958,399	4,958,399
	出産育児一時金等に関する支払勘定	475,204	475,204
	抗体検査等費用に関する支払勘定	896,903	896,903
請求事務費特別会計		99,164	99,164
職員退職給与金特別会計		57,645	57,645
介護保険事業関係業務特別会計	業務勘定	1,232,761	1,232,761
	介護給付費等支払勘定	108,169,337	108,169,337
	公費負担医療等に関する報酬等支払勘定	573,501	573,501
障害者総合支援法関係業務等特別会計	業務勘定	107,110	107,110
	障害介護給付費支払勘定	30,801,095	30,801,095
	障害児給付費支払勘定	6,001,893	6,001,893
第三者行為損害賠償金特別会計		360,002	360,002
後期高齢者医療関係業務等特別会計	業務勘定	722,030	722,030
	後期高齢者医療診療報酬支払勘定	165,619,599	165,619,599
	公費負担医療に関する診療報酬支払勘定	569,410	569,410
特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	業務勘定	42,011	42,011
	特定健康診査・特定保健指導等費用支払勘定	811,146	811,146
	後期高齢者健診等費用支払勘定	189,363	189,363